

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (1)多様な講座や学習機会の提供・充実						1-1-1(1)							
1	1-1-1(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3)			CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「旬感! ぶんきょうタイム」「くらしの情報室」「Bサーチャーズ」「ぶんきょう浪漫紀行」「プレミアムステージ」「文京インフォメーション」ほか	✓	✓	✓	-	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努める。	広報課	CATV担当・2126
2	1-1-1(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3)			区報の発行	区報による生涯学習関連情報の提供	4月10日～7月25日 124,500部 8回 8月10日～12月25日 125,000部 10回 1月25日～3月25日 125,500部 5回 計年23回 1月1日号 99,890部 年1回	✓	✓	✓	-	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。	広報課	広報担当・内線2121
3	1-1-1(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3)	44 60 70		ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等による生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報の発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター、パブリシティ等で発信	✓	✓	✓	-	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努める。	広報課	報道・ホームページ担当・2123
4	1-1-1(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3)			生活情報誌の発行	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(平成30年度発行) 次回発行:令和2年度7月予定	✓	✓	✓	-	区内全世帯に配付することにより、広く区民に周知することができる	広報課	広報担当・内線2121
5	1-1-1(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-2-(2)			外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和4年度発行)	✓	✓	✓	-	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	広報課	広報担当・内線2121
6	1-1-1(1)			生活技術を身につける学習機会の充実	豊かに安全で生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実する。	避難所総合訓練【830人】防災フェスタ【2,513人】 地域防災訓練【12,556人】防災コンクール【610人】 避難所運営訓練【1,156人】	✓	✓	✓	✓	・さまざま訓練を通じて、区民や区内事業所等へ防災意識の普及や知識の向上を図ることができた。 ・若い世代への普及啓発が課題である。	防災課	訓練担当 内線:2548・2554
7	1-1-1(1)			職業に関する学習機会の充実	経営者や従業員が必要としている知識・技術の習得を図るため研修や講演会を開催する。	中小企業向けセミナー 13回 中小企業向け講演会 3回	-	✓	✓	-	経営者や従業員が必要な知識・技術を学ぶ機会を提供できた。	経済課	産業振興係・内線2452
8	1-1-1(1)		産02-01	職業に関する学習機会の充実	区内で創業を目指す人に対し、実践的な技術、理念を学ぶ機会を提供する。	創業支援セミナー入門編 創業支援セミナー実践編(全5回) 創業支援セミナーひとり起業編(全5回)	-	✓	✓	-	創業に必要な知識や技術を提供することができた。	経済課	産業振興係・内線2452
9	1-1-1(1)		産05-01	生活技術を身につける学習機会の充実	安全で豊かに生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実する。	消費生活研修会9回、携帯電話教室3回 消費生活展1回 出前講座49回	✓	✓	✓	-	消費生活に関する学習機会を提供できた。	経済課(消費生活センター)	消費生活センター内2460
10	1-1-1(1)			生活技術を身につける学習機会の充実	子どもの生活技術向上を高める学習機会を提供する。	子ども向け研修会2回 子ども向け出前講座14回 幼児向け消費者教育2回	✓	✓	-	✓	子どもに対する早期の消費生活に関する学習機会を提供できた。	経済課(消費生活センター)	消費生活センター内2460
11	1-1-1(1)			幼児・児童・生徒を対象とした事業の充実	遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供する。	児童館行事各種(リトミック、遠足、卓球、リズムダンス、サッカー教室、ドッジボール大会、運動会、手芸教室、キッズパレエ、ベビーマッサージ、ベビーヨガ、季節行事、伝承遊び等)	✓	-	✓	-	遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供した。	児童青少年課	児童係・内線7031

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
12	1-1-(1)		地06-01	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会の充実	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会を提供する。	【ダイバーシティ推進担当】 ・男女平等参画セミナー 女性再就職セミナー&相談会 1回(6月4日 参加者28人) ・カラーリボンフェスタ 1回(7月31日から2日間 参加者539人) ・DV予防セミナー1回(12月6日 参加者36人) ・男性向け子育てセミナー 1回 (3月16日 参加者22人) ・国際女性デーイベント 1回(3月8日 参加者133人) ・文京SOGIにじいろ映画会 1回(8月6日 参加者186人) ・グローバル推進事業 3回(11、2、3月) ・未来ワークショップ 3回 (7月、8、9月 参加者24人) ・人権啓発映画会1回(12月7日 参加者78人) ・やさしい日本語講座1回(2月15日 参加者47人) ・国際女性デー記念難民映画会(3月8日 参加者270人) 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念講演会 1回(6月17日 参加者85人) ・男女平等センターまつり講演会 1回(10月27日 参加者35人) ・男女平等センター講演会 1回(3月2日 参加者40人) ・配偶者暴力の防止等啓発映画会 1回(12月1日 参加者27人) ・プラスワンセミナー 6回(①6月8日 参加者30人 ②7月13日 参加者22人 ③9月5日 参加者46人 ④11月27日 参加者35人 ⑤1月28日 参加者15人 ⑥2月22日 参加者35人) ・父と子の料理教室 2回(①8月4日 参加者22人 ②8月5日 参加者24人) ・保育園情報展示 1回(9月7日~18日 参加者484人) ・区政を知る懇談会 2回(①8月1日 参加者24人 ②1月21日 参加者36人) ・裁判ウォッチング 1回(9月12日 参加者23人) ・利用者懇談会 2回(①6月14日 参加者30人 ②11月20日 参加者33人) ・登録団体企画助成事業2回(9月1日 参加者35名 12月9日 参加者46名)	✓	✓	✓	-	・若年層から定年を迎えた方への事業など幅広い年齢層に対して学習機会を提供することができた。 ・男女平等センターまつりでメイン展示では、「男女平等はどこまで」についてアンケートを実施し、区民意識の現状を紹介することができた。 ・固定的な性別役割分担意識や、セクシュアルハラスメントなど、男女平等社会へ向けて取り組むべき課題が未だに残っているため、継続的に学習を提供していく必要がある。 ・今まで事業に参加された方以外にも、事業に参加してもらうように、広報やテーマを工夫していく。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
13	1-1-(1)		安03-01	自転車実技講習会	自転車の利用・点検や整備について理解を深め、交通のきまり、約束等を守って安全な乗車ができるようにする。	【平成30年度】 2回講習会開催 209人自転車運転免許証発行	✓	-	-	-	自転車実技講習、DVD・リーフレット等を使った交通安全教室により、小学生3・4年生に対し自転車利用安全(ルール・マナー)の周知を図っている。	管理課	交通安全係・内線3008
14	1-1-(1)			自然散策会	自然の植物と親しみ、緑に対する関心を深めるとともに、自然保護に対する意識の高揚を図るため、自然散策会を開催している。	(1)秋(11月18日)江戸川公園~肥後細川庭園にて開催 定員:40名、応募者数:26名、参加者数:20名 (2)冬(2月16日)六義園にて開催 定員:40名、応募者数:26名、参加者数:24名 (3)春(3月16日)小石川植物園にて開催 定員:40名、応募者数:50名、参加者数:45名	✓	✓	✓	✓	・平成29年度より年3回実施しているが、毎年、人気が高く、多くの募集が見込まれる。 ・3箇所とも実施の希望の多い箇所であり、他の時期での実施も望まれている。(四季の移り変わりの観察)	みどり公園課	緑化係・内線3057
15	1-1-(1)		環01-02	植物講演会	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、小学生を対象とした講演会を開催している。	7月22日に小学校3年生(保護者付添い)から6年生を対象に実施 定員:20組(保護者含む40名)、参加者数:19名(保護者14名)計33名	✓	✓	✓	✓	・小学生の夏休み期間に実施されるため、多くの希望者が見込まれる。 ・参加者の増員を検討するが、実験等で目が届かないこともあるため難しい。	みどり公園課	緑化係・内線3057
16	1-1-(1) 新規追加		環01-02	苗木配付	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、東京都苗木生産供給事業を活用し、文京区民を対象とした苗木配付事業を実施する。	10月5日に磯川公園にて実施 定員:200名(抽選)、参加者数179名	✓	✓	✓	✓	・過去にも実施していたため、事業の開始を喜ぶ声が多く聞こえた。 ・人気の樹種に偏りがあるため、余ってしまった。	みどり公園課	緑化係・内線3057
17	1-1-(1) 1-2-(1)	88	環02-02	文京ecoカレッジ公開講座	区内で活動しているリサイクル団体の企画による公開講座を一般区民向けに行っている。	【平成12年度~】平成31年2月6日レクリエーションホールで実施。定員50名、参加者39名で、参加者の内リサイクル文京の会員が18名。	✓	✓	✓	-	・海洋プラスチックごみ削減をテーマとした講義を通して、2R優先の推進・啓発を図った。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2191
18	1-1-(1)	88	環02-02	文京ecoカレッジモノ・フォーラム	モノ・プランの推進を目指しごみ減量への区民向けの普及啓発の一環として年1回フォーラムを開催している。	平成31年3月6日区民センターにて実施した。定員200名、応募者160名、参加者170名。	✓	✓	✓	-	・日々の食生活を見直して無駄をなくす方法等について紹介することで、食品ロス削減の推進・啓発を図った。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2192

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
19	1-1-(1)		子02-02	家庭教育講座	家庭における教育力の向上のため、講座・講演会を開催する。	・家庭教育に関心のある方を対象に、講座9回、座談会1回を実施した。 ・実施場所はシビックセンター地下1階レクリエーションホール他、庁内の会議室 ①6月12日(57名) ②7月12日(83名) ③8月21日(12名) ④9月14日(31名) ⑤10月18日(49名) ⑥11月15日(14名) ⑦12月18日(43名) ⑧1月21日(30名)	✓	-	✓	-	・参加者アンケートでは毎回8割以上の回答者がよかったと回答し、好評である。 ・対象年齢によるコース制を廃止し、誰でも自由に参加できるような形で実施しているため、テーマ設定が難しくマンネリ化している。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
20	1-1-(1)		子02-02	家庭教育講座「今だからこそ考えたい放射能—事故から三年半・測定の現場から—」	①東京大学大学院教育学研究科有志のコーディネートにより、放射性物質の特徴や正しい放射線量の測定方法等について、専門家の話を伺う。 ②東京大学大学院教育学研究科有志のコーディネートにより、被曝による健康問題等について、専門家の話を伺う。	第4回家庭教育講座で実施。 「東日本の放射能を測り続けて～測定の現場から～」 実施日:9月14日 参加人数:31人	✓	-	-	-	参加者アンケートで全員がよかったと回答している一方、リピーターが多く、参加者が固定化している傾向にある。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
21	1-1-(1) 2-3-(4)		教03-01	健康・体力づくりのための事業の充実	区民の健康・体力づくりを支援するため、広く区民を対象にした講演会等を行う。	歯と口の健康づくり2018 参加者203名、学校保健会特別講演 参加者121名、学校保健・給食大会 参加者数319名	✓	-	-	-	3つの事業により、多くの区民に講演を聞いてもらうことができた。区報等でも周知はするが、区立小・中学校、幼稚園を通じて呼びかけるため、ほとんどの来場者が保護者となっていることから、広く一般の区民の来場を呼び掛ける必要がある。	学務課	学校保健担当・内線3529
22	1-1-(1) 1-3-(2)			地域行事への学校の参加の促進	地域の様々な催しに学校が積極的に参加し、地域と学校の連携を図る。	各幼稚園・小学校・中学校において、地域のイベント等に幼児・児童・生徒が参加	-	✓	✓	-	地域の様々な催しに学校が積極的に参加することで、地域と学校の連携を図られている。	教育指導課	教育指導課内線3541
23	1-1-(1)		教02-01	科学教育事業の充実	児童・生徒等に対し、地域で交流したり、学習する機会を充実する。	幼児・児童・生徒・保護者を対象とした講座を全49回実施し、計1847名が参加し、学習活動を行った。	-	✓	✓	-	幼児から小学生の参加が多く、自然科学や情報教育を推進できた。中学生の参加者を増加させることが課題である。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
24	1-1-(1)		教02-01	子ども科学カレッジ(科学教育事業の充実)	区内大学等の研究者を講師として招き、小学校4年生～中学生を対象に、大学の高度な学術研究成果を体験できる講座を開催する(全10回)。	講座を全15回実施し、小学4年生から中学3年生まで計361名の参加があり、大学の最新の研究成果に触れるとともに、学術研究の素晴らしさを体験した。	-	✓	✓	-	優れた講師による講座や最新の科学技術に触れるよい機会となっている。中学生の参加者を増加させることが課題である。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
25	1-1-(1)			教養を高める学習機会の充実	教養等に関する区民の要求に応える学習機会を充実するため、政治や選挙に関する教養講座を開催する。	区内における学校に対して、選挙出前授業・模擬選挙を11回実施	✓	✓	✓	✓	出前選挙を行った際のアンケート結果では将来投票に行くこと9割以上が応えている。一方で、実施できていない学校があるため、引き続き区立中学校全校実施に向けた取組みを進める。	選挙管理委員会	選挙管理委員会事務局・内線3401
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (2)学習や活動ができる環境の提供											1-1-(2)		
26	1-1-(2)			区内大学等との連携の拡大	区民にとって大学を文化的資産ととらえ、区と大学が相互に協力することで、文化・教育の学びの場としての賑わいを図り、文京区の魅力を高め、地域社会の活性化を目指す。	相互協力協定締結大学 区内16大学 区内大学との連携事業数 30年度335件(事業数123)	✓	✓	✓	✓	多くの事業で大学との連携・協働ができていて、大学の特色により連携大学に偏りがある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2582
27	1-1-(2)			文京区インターシッピ	事業参加者が、自己の適性を把握し個々の能力に適した進路に進めるよう、区内大学等の学生を対象に区政実務の体験実習を行っている。なお、本事業は参加者より住民目線の提言をいただき、区民志向で質の高い効率的な行政運営体制を確立することを目的としている。	【平成15年度～】 8月13日(月)～8月24日(金)のうち10日間 参加者:14名 <内訳> 区内大学推薦:10大学10名 区民公募:4名	-	✓	✓	-	・公務員を目指す学生等に好評である。	職員課	職員育成担当・内線2237
28	1-1-(2) 5-2-(2)			能力開発「実務・専門」ステージ 実務研修「庁内留学in Bunkyo～国際交流人の育成～」	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、外国人講師による英語研修を実施するとともに、TOEICの受験を研修に盛り込み、TOEIC600点以上の取得者及び既存で英会話可能な職員をEnglish Navigatorとして配置し、外国人来庁者への中心的役割を担わせる。	【平成27年度～】 5月～12月(前期・後期) グループブレッソン、マンツーマンレッスン、自習受講者 前期(5～8月) 19名 後期(9～12月) 17名	✓	✓	-	-	・受講生に好評である。 ・TOEIC600点以上の取得者を増やすことが課題である。	職員課	職員育成担当・内線2237
29	1-1-(2) 1-3-(2)			産学官が連携するための拠点づくり	産学官が連携して創業及び中小企業支援を進めていくために、連携の核となる新たな拠点づくりを検討する。	創業に係る現在の経済情勢を踏まえ、区の方針について検討を実施した。	-	-	✓	-	連携のあり方、手法についてもあわせて検討する必要がある。	経済課	産業振興係・内線2452

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
						目標1	目標2	目標3	目標4			
30	1-1-(2)			社会福祉士相談援助技術現場実習	社会福祉士の資格を取得する為の実習。毎年8月下旬～10月上旬までの期間で計180時間	平成30年度は8月20日～9月28日まで実施 東洋大学	✓	✓	✓	-	社会福祉士の資格を取得するための実習となっているため、複数の大学より、学生の受入依頼がある。 ・実習指導者数が少なく、十分な学生の受け入れができない。	福祉政策課 福祉企画係・内線2702
31	1-1-(2)		高福03-05	認知症サポーター養成講座	跡見学園女子大学で認知症サポーター養成講座を実施します。	跡見学園女子大学において実施 ①H30.6.18受講人数10人 ②H30.7.13受講人数13人 ③H30.9.7受講人数5人	-	✓	-	-	大学内ゼミにおいて講座を開催することで、学生層への普及啓発の一助となった。サポーターとなったその後の活躍の場やステップアップ講座へのつながりを検討することが課題である。	高齢福祉課 高齢福祉課 認知症・地域包括ケア係 (2707～2709)
32	1-1-(2) 2-2-(3)			健康まち歩き	「体力アップフェア」の後継事業として、シニアプラザ事業で複数行っていたイベントのうち「健康まち歩き」を一般事業化してH28年度から継続実施。 学生が年度当初から企画作成した区内探訪コースを、専門の講師による正しい歩き方教室を受講後、学生の案内で歩く。多世代交流を通じて高齢者の生きがい及び健康の向上を図る。	フレ実施 平成30年9月25日(火) 本大会 平成30年10月27日(土) 学生ボランティア17名・文高連8名・一般区民23名・大学関係者2名・区関係者10名(講師2名、看護師1名、高齢福祉課7名) 計:60名	✓	-	-	-	健康運動士によるウォーキング講座を受講後、学生が作ったコースをおしゃべりやカフェを楽しみながら一緒に散策した。文高連会員や学生による細やかな配慮のもと、参加者の満足度も高く、心身ともに元気に過ごせる地域づくりに寄与することができた。今後より多くの方に参加していただけるよう、周知に努めていく。	高齢福祉課 高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
33	1-1-(2) 2-2-(2)			からだコンディショニング事業(福祉センター-江戸川橋・湯島)	高齢者の心肺機能や運動機能の低下を防止、要介護及び要支援状態になることを予防するための健康維持事業を行う。 ※「すこやか体操」(音羽)「心もからだもいきいき体操」(湯島分館)の後継事業(平成28年度より)	平成30年11月11日(土)～12日(日) 活動発表団体:30団体。(うち地域福祉関係:14団体) 協力一般団体:8団体 参加ボランティア:成人44人、大学生60人、高校生1人、手話通訳30人 イベント等参加人数(二日間総合計):3,946人	✓	-	✓	-	理学療法士を講師に招いたり、各回テーマを変え実施した。この体操から、定期的にある自主事業の体操に参加につなげることができた。	高齢福祉課(福祉センター) 高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
34	1-1-(2)		子05-10	児童館・育成室等の整備	待機児童の解消のため新規育成室を設置する。また、耐震補強工事に合わせて施設の整備を図る。 全児童館の閉館時間を午後6時まで延長し、中高生の居場所として活用している。	児童館において、トイレの内装工事及び洋式化、遊具修繕工事等を行った。 ◆トイレ内装工事・洋式化実施 3館(柳町、根津、目白台第二) ◆遊具修繕工事実施 4館(柳町、小日向台町、湯島、目白台第二)	✓	-	-	-	待機児童の解消のため引き続き育成室の増設に取り組んでいく。	児童青少年課 児童係・内線7032
35	1-1-(2)		子01-01 子01-02	子ども家庭支援センター事業	相談事業や親子ひろば事業、育児支援ヘルパー事業等を実施することにより、家庭における保護者の子育て及び子どもの健全な育成を支援する。また、要保護児童対策地域協議会の調整機関として、関係機関のネットワークを整備し、児童虐待の予防、早期発見・対応ができる体制を構築する。	平成31年4月開室に向けて音羽育成室の開室準備を行った。 子ども家庭支援センター実績 ・総合相談事業:一般相談12,173件 専門相談452件 児童虐待(再掲)7,909件 総件数 12,625件 ・親子ひろば事業 登録者数 3,693人 利用者数 28,070人 ・子育て支援講座 27回開催 参加者数 713人 ・育児支援ヘルパー事業 派遣回数延384回 派遣家庭18家庭 ・要保護児童対策地域協議会 個別ケース会議53回 医療関係者会議2回 実務者会議4回 代表者会議1回	✓	✓	✓	-	・子どもと家庭に関する相談事業、情報交換や交流の場を提供する親子ひろば事業を実施するとともに、子どもとの関わり方や子育てに関する不安や悩み等をテーマに子育て支援講座を開催し、参加者の不安や悩みの軽減を図りました。 ・相談対応件数の増加に加え、複雑な状況を抱える子どもや家庭等を支援するために、関係機関との連携をさらに強化する必要があります。	子ども家庭支援センター 子ども家庭支援センター 家庭支援係内線7018から各係へ
36	1-1-(2)		健02-03	レッドリボン展	ギャラリーシビックでエイズ啓発物展示	レッドリボン展: H30年12月5日ギャラリーシビックで開催。369名参加。 区民ひろばで尚美ミュージックカレッジ専門学校によるレッドリボンコンサート同日開催。140名参加。	-	-	✓	-	・区民ひろばでのコンサートとアートギャラリーでの展示との同時開催により、多くの来庁者に対して正しい知識の普及と理解の啓発を行うことができた。 ・展示ではテーマにあわせて内容を見直し、正しい情報を更新できるようにしていくこと、コンサートについては空席もあつたため、椅子席を利用をしやすいし、展示と相互で集客を増やせるように誘導を検討していくことが課題である。	予防対策課 保健指導係・内線2819
37	1-1-(2)			巨木スタンプラリー東大	小学生の親子を対象に、身近な自然に親しんでもらうため、巨木を巡るスタンプラリーを実施。会場に東京大学本郷キャンパスを使用し、事業運営に各大学の学生ボランティアが参加している。	10月21日に東京大学本郷キャンパスにて実施 定員175組(児童+保護者)、参加者数153組(346名)	✓	✓	✓	✓	・毎年、多くの参加希望者があり、定着した事業となっている。 ・29年度は、直前での中止となったため、実施の有無の判断を早期に行うと共に、周知の方法を検討していく。	みどり公園課 緑化係・内線3057



整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
38	1-1-(2)		環02-02	親子環境教室	環境意識啓発を目的として「体験を通じて、考え、調べ、学び、行動する」という体験型環境学習の機会を提供する。	親子環境教室(6回実施) ①7月21日 参加者92人(親:43 子:49)/応募90組抽選 ②7月21日 参加者62人(親:27 子:35)/応募53組抽選 ③8月4日 参加者91人(親:41 子:50)/応募109組抽選 ④8月4日 参加者70人(親:30 子:40)/応募173組抽選 ⑤12月15日 参加者68人(親:27 子:41)/応募63組抽選 ⑥12月15日 参加者92人(親:36 子:56)/応募67組抽選	-	✓	-	-	・平成28年度から実施回数を増やしたため、平成29年度も多くの親子に体験型環境学習の機会を提供することができた。 ・29年度も各教室で定員22組を超える応募があった。応募多数の場合は抽選となるため、受講できない親子の数が解消できるかが課題である。	環境政策課	地域環境係・内線3131
39	1-1-(2)			校外施設の区民利用	児童・生徒の心身の健全な育成を図るとともに、区民の健康及び余暇活動を促進することを目的として設置されているハケ岳高原学園について、区民利用者数の増加を図る。	開放期間:4月～11月まで 区民利用実績:延べ259名	✓	-	-	-	利用者が固定されている傾向にあるため、広報活動に工夫が必要である。また、建設から約40年が経過し、施設内の付帯設備及び浴室棟の老朽化が課題である。	学務課	施設係・内線3535
40	1-1-(2)			文京区教育ビジョンの推進(教育ビジョンの具体化の推進)	教育ビジョン推進プランに基づき、生涯学習の基礎づくりを図り、豊かな人間性を育む教育を、学校・家庭・地域において推進するための環境整備を行う。	かがやく心(冊子)作成 道徳授業地区公開講座の全小・中学校で実施	✓	✓	-	-	豊かな人間性を育む教育を、学校・家庭・地域において推進するための環境整備を行っているが、今後も継続していくことが重要であると捉えている。	教育指導課	教育指導課内線3541
41	1-1-(2)			校外施設での学習の推進	自然にふれ、自然の中で生活することにより、豊かな体験ができるよう、校外施設での学習を行う。	自然体験教室、ハケ岳高原学園、岩井臨海学校	-	✓	-	-	自然にふれ、自然の中で生活することにより、豊かな人間性を育むことにつながっている。	教育指導課	教育指導課内線3541
42	1-1-(2)			理科推進事業	区立中学校1・2年生に対して、講義および演示、実験等を行い、科学に対する興味、関心を高める。	お茶の水女子大学	-	✓	-	-	科学に対する興味・関心の高まりについては、効果が表れている。引き続き、科学に興味・関心を高めていくことが課題である。	教育指導課	教育指導課内線3541
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (3)あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実											1-1-(3)		
43	1-1-(3)			学習関連情報の収集・提供	区が集約した行政機関学習関連情報に加え、生涯学習関連機関の情報も積極的に収集、一元化し、区民等に効果的に提供する。	行政機関や大学等から届いた公開講座等のポスター掲示、チラシ配架をアカデミー施設及び図書館等で行っている。	✓	✓	✓	✓	地域アカデミーや図書館で掲示することで区民に広く周知することができる。 より効果的に周知できる方法を検討する必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2582
44	1-1-(3)			大学等の生涯学習情報の収集	大学の公開講座、社会人入学などに関する情報を収集し、区民等に提供する。また、高校の公開講座の情報も収集する。	大学の公開講座・講演会の予定を指定管理者である(公財)文京アカデミーの広報紙「Square」ポスターの掲示及びチラシ配布をアカデミー施設及び図書館等で行っている。	✓	✓	✓	✓	地域アカデミーや図書館で掲示することで区民に広く周知することができる。 さらに周知できる方法を検討する必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581 (公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
45	1-1-(3)			文京アカデミア講座案内、(公財)文京アカデミーHPによる講座・講演会案内及び申込受付	生涯学習講座の受講者募集に合わせ、講座案内、区報、(公財)文京アカデミー広報紙などの活用メディアのほか、(公財)文京アカデミーHP内に講座案内を掲載。申込は、はがきのほか、インターネットからも受け付けます。	・文京アカデミア講座案内パンフレット 3回発行(前期・後期・後期Ⅱ 各4,500部) ・夏休み子どもアカデミア講座パンフレット 1回発行(7,000部) ・財団広報紙(100,000部)、広報紙音声版CD、区報、HP等各種メディアを活用した講座案内及び申込受付を実施	✓	-	-	-	・様々なツールを用いて周知し、効果的に財団事業をPRできた。 ・HP掲載により、インターネットからの申し込みが増加している。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー学習推進係 内線3642
46	1-1-(3)			障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供する。	各種障害者対象講座の開催(料理、フラワーアレンジメント、お点前、陶芸等)	✓	-	-	-	各種講座の開催は、学習機会の提供のみならず、障害者のふれあいの場、交流の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係(社会福祉法人武蔵野会)・内線3339
47	1-1-(3)		子06-01	保育施策	事業所内保育所である「順天堂もとまち保育所」において、区民枠として30名を保育している。また、旧元町小学校で運営している順天堂病後児ルーム「みつばち」に、病後児保育事業を委託している。	病後児保育事業延べ利用者数 1,052人	-	-	✓	✓	病気により集団保育の困難な児童を一時的に預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援した。 一方、利用予約により、定員が満員になるが、保護者の勤務予定や子どもの体調等の変化により、直前のキャンセルが多数あるため、結果的に空きが出る状況になっている。	子育て支援課	幼児保育課民間施設係・内線7052 子育て支援課子育て支援推進担当・内7012
48	1-1-(3)		子04-04 子04-07 子05-02	保育サービスの充実	多様化する保育需要に対応するため保育サービスの充実に努める。	延長保育 55園 0歳児保育 49園 障害児保育 全園 年末保育 3園 緊急一時保育 17園 リフレッシュ一時保育 17園 一時保育 3カ所 認証保育所 3カ所 グループ保育室 1カ所 地域子育てステーション 19園 臨時保育所 1カ所	✓	✓	✓	✓	私立認可保育所の開設により、延長保育、0歳児保育、障害児保育の充実を図った。 今後も、私立認可保育園や小規模保育所等の開設により、更なる充実を図っていく。	幼児保育課	幼児保育課幼児保育係・内線7051

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績	目標1	目標2	目標3	目標4	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
49	1-1-(3)			お茶の水女子大学 認定こども園(仮称)の開設準備	区とお茶の水女子大学は、平成28年4月に認可保育所に幼稚園機能を備えた区立の保育所型認定こども園を大学の敷地内に開設する予定である。当該認定こども園の運営については、区が大学に業務全般を委託して実施するものであり、現在、開設に向けての協議を行っているところである。 ※本計画に関する共同記者会見を9月29日に実施	全年齢0～5歳児までの93人で園運営を実施した。育児相談等の地域子育て支援事業のほか、区内保育士の保育見学受け入れや、区立中学生の職場体験などの地域連携交流も積極的に実施した。 また、2月には、こども園での実践の成果を区内の幼児教育・保育の質の向上につなげるため、「第3回お茶大こども園フォーラム」を開催した。	✓	✓	✓	✓	「お茶大こども園フォーラム」は、毎回、区内の公私立保育園・幼稚園関係者はもちろんのこと、日本中の保育者や研究者が数多く参加し、好評を得ているところであるが、今後、こども園での実践の成果を、区内の幼児教育・保育施設へどのように還元していくかが課題となっている。	幼児保育課	保育所指導・私立幼稚園係・内線7065
50	1-1-(3)			講座等での保育室の設置	子育て中の男女が積極的に参加できるよう一時保育について配慮する。	【ダイバーシティ推進担当】 ・女性再就職セミナー 1回(利用者4名) ・DV予防セミナー1回(利用者1人) ・男性向け子育てセミナー 1回(利用者6人) ・国際女性デーイベント 1回(利用者1人) ・文京SOGilにじいろ映画会 1回 ・人権啓発映画会 1回 ・やさしい日本語講座 1回(利用者2人) 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念講演会 1回 ・男女平等センター講演会 1回 ・配偶者暴力の防止等啓発映画会 1回 ・プラスワンセミナー 6回(利用者計2名) ・区政を知る懇談会 2回(利用者計2名) ・利用者懇談会 2回 ・男女平等センターまつり講演会 1回 ・登録団体企画助成事業 2回	✓	-	-	-	・子育て世帯の家族が、そろってイベントに参加する姿を多く見ることができた。 ・広く区民の方の参加を募る事業にあつては、原則として保育の受け入れを準備し周知することで、子育て世帯の参加を促進していく。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
51	1-1-(3)			講座等での手話通訳者の設置	障害のある方が講座等に参加できるよう、手話通訳者を配置する。	【ダイバーシティ推進担当】 ・DV予防セミナー1回(利用者なし) ・男性向け子育てセミナー 1回(利用者なし) ・国際女性デーイベント 1回 ・文京SOGilにじいろ映画会 1回 ・人権啓発映画会1回 ・やさしい日本語講座1回(利用者なし) 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念講演会 1回 ・男女平等センター講演会 1回 ・プラスワンセミナー 6回 ・区政を知る懇談会 2回 ・利用者懇談会 2回(利用者2名) ・男女平等センターまつり講演会 1回(申込なしでも行なうため利用者数不明) ・登録団体企画助成事業 1回	✓	-	-	-	・障害のある方にもイベントに参加してもらうことができた。 ・手話通訳付の講座等については、聴覚障害のある方にも気軽に講座等へ参加できるように、引き続き周知を行う。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
52	1-1-(3)			特別保育(障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置)	文京区立幼稚園において、支援が必要な幼児が集団の中で生活することを通して、幼稚園教育の機能や特性を活かしながら、健常児とともにその幼児の発達を促していくことを目的とする。	継続22件 新規38件 合計60件	✓	✓	-	-	インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の充実という点では成果が見られる。継続した取り組みをしていく。	教育指導課	教育指導課内線3541
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (4)地域の学習拠点としての図書館づくり												1-1-(4)	
53	1-1-(4)			図書館の運営	平成22年4月より真砂中央図書館を除く7館3室が指定管理者制度の導入による図書館運営となり利用者サービスの向上を図る。	【平成27年度～】第2期指定管理者による運営。 開館日の拡大及び開館時間の延長を継続して実施するとともに、多彩な行事の実施等、図書館サービスの拡充に取り組んでいる。	✓	-	-	-	・行事や資料の展示等において企画力を発揮するとともに、広報誌の発行等においても効果をあげている。 ・指定期間が長期化することにより、安定したサービスができる反面、士気の低下を招かないよう図書館間の連携を強化する必要がある。	真砂中央図書館	計画担当・内線3625

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
54	1-1-(4)			保護者のための学習機会の提供	家庭教育への理解を深め、家庭教育を一層充実するために保護者のための学習機会を提供する。	児童出版社連携講座 4月29日 参加者73名 ライブラリーパートナー研修 5月17日・24日 参加者32名 乳幼児向け読み聞かせワークショップ 5月18日 参加者8名 本好きの子どもに育てるレシピ 6月3日～24日 参加者74名 小学校での読み聞かせボランティア養成講座(4回連続) 6月7日～7月5日 参加者12名 調べる学習を楽しもう お父さん・お母さんの巻 6月30日 参加者54名 夕涼みおはなし会 8月22日 参加者10名 子育て中こそ図書館を楽しもうIV 10月8日 参加者83名 大人のためのStorytime 11月19日 参加者37名	✓	✓	✓	-	・読み聞かせの必要性を説くとともに、技術の向上を図るため、講座や講演会を実施。家庭や学校等での読み聞かせの実践につなげた。 ・読書を習慣づけ、図書館の利用促進を図るため、より多様な事業を展開することが求められる。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
55	1-1-(4)			親と子がふれあうイベント等の実施	親と子が共に楽しみ、ふれあいを深める行事を実施する。	子ども読書の日・春・夏・クリスマス子ども会(人形劇等) 86回実施 参加者5,040名 子ども映画会 24回実施 参加者1,370名	✓	-	-	-	・良質の文化の提供と図書館利用の促進が図られる。 ・乳幼児サービスの取組が奏功し、幼児の参加が増加しているが、小学生以上の参加が減少している。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
56	1-1-(4)			親子のふれあいを深める活動の支援	乳児期の早期から絵本を介して親子のふれあいを深め、親子の健全な関わりを育む子育て支援の一助とする。	【平成14年度～】ブックスタート(4か月児健診時実施) 2,045名 【平成24年度～】フォローアップ事業(1歳6か月児対象) 1,453名 乳幼児向け読み聞かせ行事 232回実施 参加者6,112名 育児関連図書、絵本の選び方や読み聞かせに関する図書の収集及び提供。	✓	-	-	-	・ブックスタートは対象者の97%以上に実施しており、その後の図書館利用に結びついている。 ・家庭での読み聞かせの習慣を定着させるため、フォローアップ事業の強化が必要である。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
57	1-1-(4)			児童・生徒を対象とした事業の充実	学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、児童・生徒を対象とした事業を提供する。	おはなし会 413回実施 参加者5,568名 ビブリオバトル小・中学生大会 10月21日 参加者13名 調べ学習関連事業 7回実施 参加者186名 ティーンズ向け夏の刺しゅう教室 参加者26名 小学生のための宇宙教室 8月8日 参加者30名 子どもフワーアレンジメント教室 2回実施 参加者47名 工作会 10回実施 参加者379名 カルタ会 6回実施 参加者168名	✓	-	-	-	・多彩な事業を実施することで読書への動機付けとなる。 ・10代の読書離れ、図書館離れを改善するため、中高生向け行事の充実が求められる。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
58	1-1-(4)			教養を高める学習機会の充実	教養等に関する区民の要求に応える学習機会を充実する。	資料の収集・提供、季節や時節の話題をテーマにした特集展示などの実施。 講演会・講座・読書会・朗読会等 77回実施 参加者2,701名	✓	-	-	-	指定管理者の自主事業を含め、多種多様な特集展示、行事を実施している。 ・館ごとの特色を活かし、区民の学習意欲を高める企画を一層充実させる。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
59	1-1-(4)			利用者開放用インターネット端末利用サービス(図書館の整備)	平成18年度～平成20年度において、区立図書館全館に利用者開放用インターネット端末を設置した。利用者が図書館資料の検索を始めとして多様な情報にアクセスし、必要な情報が収集できるインターネット端末利用サービスを実施している。	全館で19台設置。パソコンの利用は無料。また、真砂中央と小石川では、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス、オンラインデータベース(官報情報検索サービス、日経テレコン21)の閲覧が可能。情報プリントアウトは有料。	✓	-	-	-	インターネット端末の設置及び各種データベースの導入により、利用者の知る権利を保障し、多様な要求に応えることが可能となった。	真砂中央図書館	管理係・内線3625
60	1-1-(4)			図書館ネットワークの充実	区内図書館相互、都立図書館や国会図書館との各種ネットワークの強化を図る。	第二ブロック(台東・北・荒川)を中心に、他自治体や国会との相互協力を実施。利用対象者は区民(在住・在勤・在学)のみ。国会図書館からの歴史的音源配信サービス、デジタル化資料送信サービスを実施。	✓	-	-	-	相互協力により、幅広い資料提供が可能となった。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
61	1-1-(4)			IT図書館システムの運営(図書館オンラインシステムの運営)	図書館システムを更新して利用者サービスを拡充するとともに、業務の効率化を図るものである。	インターネットによる利用者サービスを提供。資料検索、予約、レファレンスのほか、貸出延長や予約情報変更手続きが可能。また、おすすめリストや新着資料案内メール、返却期限日お知らせメールサービスも提供している。ホームページは、パソコン用だけでなく、携帯電話用、スマートフォン用のページも開設しているほか、視覚等障害者のための点字・録音図書専用の検索・予約ページも提供している。	✓	-	-	-	・利用者からの要望に応えるため機能を追加し、充実を図っていく。 ・ホームページを活用しての情報発信の充実が求められる。	真砂中央図書館	管理係・内線3625
62	1-1-(4)			図書館運営の区民参画推進	区内の多彩な人材を受け入れることにより図書館サービスの充実を図るとともに、図書館運営に区民の参画を促進することにより地域に密着した図書館運営を目指す。	【平成14年度～】図書館ボランティア(ライブラリーパートナー)登録者 個人39人、団体11団体 おはなし会、本の絵本の製作、資料の装備・修理等を実施。 ライブラリーパートナーを対象に読み聞かせ等の研修を実施。	✓	✓	✓	-	・区民に図書館運営の一端を担ってもらうことで、より多様な事業を行うとともに、区民にとって身近で親しみやすい環境をつくる。 ・研修を実施し、技術の向上を図る。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
63	1-1-(4) 1-3-(2)			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域資料の収集・提供。 特集展示「江戸幕末戊辰戦争「明治150年 江戸から東京へ」明治150年 明治の東京」「あやしい東京」「大河ドラマ『いだてん』」	✓	✓	✓	-	地域への関心の高まりによって、レファレンスや展示資料の利用が増加している。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3			
64	1-1-(4) 1-3-(2)			図書館ホームページの充実	子どもの読書活動の重要性や意識について広く理解を得るために、子ども・中高生向けのページを設置し、情報を発信する。	図書館ホームページに「子ども読書の部屋」「YA10代のためのページ」等を開設し、情報発信。	✓	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子ども読書の部屋」は、図書館からの情報発信だけでなく、子ども読書に係わる取組をする人々の交流にも活用できるよう開設したが、十分には活用されていない。</li> <li>「YA10代のためのページ」は、中高生向けの内容の充実と情報の更新が必要である。</li> </ul>	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
65	1-1-(4)			文の京デジタル文庫の公開	区史や古地図のような貴重な資料の長期保存と後年の複製のために、地域資料のデジタル化を行った。	【平成24年度～】 「文京区の図書館あんない」等、行政資料151点 「住居表示新旧対照図」等、地図24点をデジタル化	✓	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>古地図等の紙資料の劣化が進行する前にデジタル化することにより、長く閲覧に供することが可能となる。</li> <li>行政資料の保存と公開に関する方針策定が課題である。</li> </ul>	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
66	1-1-(4)			ひなぎくおはなし会	日本女子大学児童文学研究会に属している学生が、子どもに絵本や紙芝居等の読み聞かせを行う 実施日:第4土曜日 目白台図書館にて開催	12回実施 参加者118名	✓	-	✓	学生との協働により、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
67	1-1-(4)			えほんのじかん (大学生による読み聞かせ)	しいのみこどもかいに属している学生が、子どもに絵本や紙芝居等の読み聞かせを行う 実施日:第4土曜日 千石図書館にて開催	12回実施 参加者273名	✓	-	✓	学生との協働により、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
68	1-1-(4)			文化講座	大学教授による講座(千石図書館)	「オリンピックのレガシーとは」 9月30日 参加者23名	✓	-	✓	指定管理者によって実施している事業で、大学教授の他、地域の施設の学芸員や医師等にも依頼しており、利用者からも好評である。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
1生涯学習 2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (1)主体的な活動を支える仕組みづくり											1-2-(1)	
69	1-2-(1)			キャリアアップ講座の実施	個々の職員の生涯学習に対する認識を高めるために、自己啓発事業を実施する。	キャリアアップ講座受講 0件	✓	✓	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>29年度から指定外講座も助成対象とした。</li> <li>受講者を増やすことが課題である。</li> </ul>	職員課	職員育成担当・内線2237
70	1-2-(1)			男女平等センター資料コーナーの充実	インターネット接続パソコンの活用及び図書館や関係機関との連携によって、男女平等参画に関する情報や資料を収集し提供する。	蔵書 図書6,964冊、新聞3紙、雑誌13誌、ビデオ・DVD等164本	✓	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施事業のテーマや講師の著書、利用者の要望、関係機関・団体からの情報提供などを参考にし、男女平等参画に関する資料等の充実を図っている。</li> <li>平成30年度は、41冊の図書購入(寄附を含む。)を行った。</li> </ul>	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
71	1-2-(1)			ボランティア・市民活動についての情報提供・相談	ボランティア・市民活動についての情報収集を行い、活動に関する相談、ボランティアコーディネートを行う。	ほらんていあニュースの発行(年2回)3,500部 「社会福祉協議会ホームページ」や「どっとファミコム」による情報提供 ボランティアコーディネート	-	✓	✓	30年度は、ボランティアニュースの内容、配付部数について検討し、試行的に年2回発行した。	福祉政策課	社会福祉協議会 文京ボランティア支援センター・内線4321
72	1-2-(1)			ボランティア活動基盤づくり	ボランティア活動が円滑に行えるよう、ボランティア保険に関する案内や資機材の整備を行う。 ◎ボランティア活動室・機材の貸出し 印刷機、紙折り機、点字プリンター ◎ボランティア保険の加入受付	ボランティア保険の加入受付5,280人	✓	-	-	引き続き、ボランティア活動室の貸し出し等を行い、活動しやすい環境整備に努めた。	福祉政策課	社会福祉協議会 文京ボランティア支援センター・内線4321
73	1-1-(1) 1-2-(1) No.25再掲	92	環02-02	文京ecoカレッジ公開講座	区内で活動しているリサイクル団体の企画による公開講座を一般区民向けに行っている。	【平成12年度～】平成31年2月6日レクリエーションホールで実施。定員50名、参加者39名で、参加者の内リサイクルイン文京の会員が18名。	✓	✓	✓	・海洋プラスチックごみ削減をテーマとした講義を通して、2R優先の推進・啓発を図った。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2191
1生涯学習 2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (2)活動成果披露の場の充実											1-2-(2)	
74	1-2-(2) 1-3-(1)			いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通して、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図る。	いきいきシニアの集い 平成30年11月23日～24日実施 参加人数(二日間総合計):5,325人	✓	-	✓	2日間の開催で延べ来場者数は6千人を超え、活況を呈した。作品展示や手芸等の実演コーナーを通して高齢者やその子世代、学生ボランティア等との世代間交流が促進され、高齢者の生きがい向上を図ることができた。	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
75	1-2-(2) 1-3-(1)			「敬老の日施設開放」	高齢者の生活が健康で明るいものとなることを願って、福祉センター利用者と職員が一緒に「敬老の日」を祝う。 内容は、敬老の日に高齢者自身が演芸大会で歌・踊り・手品等の特技を披露し合う。また、お茶会を催す。	「敬老会」参加 延べ人数120人[出演者26名(関係者含)、シア70人、リアン15人、一般7名、子ども2名]	✓	-	-	シニアの方が70名参加した。多世代間で祝福(交流)ができるよう、出演団体に小学校の父親の会を招き、そのご家族の参加も図るようになった結果、子どもや一般の方の参加もあつた。今後も多世代間交流が図れるよう検討していく。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)



整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
76	1-2-(2) 1-3-(1)			福祉センター祭り	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を通じて、地域社会との交流を図る。また福祉センターを利用する自主的サークルの活動発表の場を提供する。	平成30年11月11日(土)～12日(日) 活動発表団体:30団体。(うち地域福祉関係:14団体) 協力一般団体:8団体 参加ボランティア:成人44人、大学生60人、高校生1人、手話通訳30人 イベント等参加人数(二日間総合計):3,946人	✓	-	✓	-	4千人近くの来場があり盛況であった。多種に渡ったワークショップやイベントを用意することで、多世代間(地域)交流が促進された。また、所属する町会からのボランティアだったり、消防や警察、地域の大学やお店の(ワークショップ)協力もあり、共生社会の街づくりの一助となった。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
77	1-2-(2) 1-3-(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場をつくる。	平成30年12月8日(土)～10日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,989人。	-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場を作ることができた。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
78	1-2-(2) 1-3-(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図る。	福祉作業所一歩いっぽ祭り 小石川福祉作業所 平成30年10月27日(土)開催 大塚福祉作業所は改修工事のため、休止	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係・内線3339
79	1-2-(2) 1-3-(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図る。	本郷福祉センターほんわか祭り H30年11月24日(土)開催	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係・内線3339
80	1-2-(2)		教02-02	東京大学総合研究博物館スクール・モバイル・ミュージアム(地域大学等連携事業)	平成29年度からは地域大学等連携事業として、東京大学総合研究博物館の研究成果を教育センターで展示し、トークイベント等を実施する。	年間2テーマの展示を行い、月1回程度トークイベントを実施した。小中学生1221名、大人2150名の来場があった。	✓	-	✓	-	最先端の科学技術研究の成果を子ども達に還元することができた。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
1生涯学習 2.一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (3)人材育成・活用の推進											1-2-(3)		
81	1-2-(3)			大学の人材の審議会での活用	大学の人材を、各種審議会等の委員として活用する。	アカデミー推進協議会委員委嘱(3名)	✓	✓	✓	✓	学識経験者の知識により客観的、総合的評価検討ができる。スケジュール等から会議の回数、時間帯が制限されてしまう。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581 森鷗外記念館
82	1-2-(3)			大学の人材の起用	大学プロデュース講座・大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)を充実させることで区内大学の人材を講師等として起用します。	・大学プロデュース講座(文京アカデミア講座) 12大学 35講座 ・大学プロデュース特別公開講座(学長講演会) 2大学 2講座 ・文の京・最先端生命科学講座 1大学 3講座 ・夏休み子どもアカデミア講座 6大学 7講座	✓	-	✓	-	・区内大学と連携し、大学の人材やキャンパスを活用した講座等を提供することができた。 ・区内にある21の大学について、各大学の強みを活かした分野でさらに協力いただくことが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー 学習推進係 内線3642
83	1-2-(3)			職員の育成	文京区職員育成基本方針に基づき、職員一人ひとりが地域行政のプロとして、地域課題の解決に向けて自ら考え行動できるよう、職員の育成に取り組む。	各種職員研修の実施 新規採用職員育成ローテーション 等	-	✓	-	-	・引き続き職員の育成に取り組む。	職員課	職員育成担当・内線2237
84	1-2-(3)			ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進する。また、専門的な知識を持ったボランティアを育成する。	文京区登録手話通訳者29名に対し、5月・7月・8月・11月・1月・3月の計6回、専門研修を実施。	-	-	✓	-	専門的な知識を持ったボランティアを育成することができた。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
85	1-2-(3)		子03-02	子育てサポーター認定制度	地域における子育て支援の担い手を育成するため、全国共通の子育て支援員制度と文京区独自のカリキュラムで構成する子育てサポーター認定制度を創設する。子育てサポーターに認定された方は、社会福祉協議会がファミリー・サポート・センター事業を拡充して実施する訪問型保育事業の担い手として活動する。今回、子育てサポーター認定制度における子育て支援員研修について、区内大学との事業連携により実施する。	○スタンダードサポーター認定研修 研修実施回数 4日×2回 (1・2日目:真静学園短期大学、3・4日目:全国保育サービス協会) ○アドバンスサポーター認定研修 研修実施回数 1日×1回(子育てひろば全国連絡協議会)	-	✓	✓	✓	スタンダードサポーター認定研修では、計33名をスタンダードサポーターとして認定した。 また、アドバンスサポーター認定研修では、計30名をアドバンスサポーターとして認定した。 本研修の更なる周知による受講者の確保とともに、ファミリー・サポート・センター事業や地域子育て支援拠点事業と連携し、認定サポーターの活躍の機会を支援する。	子育て支援課	子育て支援推進担当・内7012

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
86	1-2-(3)		環02-02	環境ライフ講座	環境保全について、日常生活と身近な視点に立った講座を実施し、地域における環境保全意識啓発活動等のリーダーとして取り組む人材を育成する。	講座期間:平成30年7月~平成30年10月 講座内容:「みんなで守ろう!文の京の環境」をテーマに学習 回数:全9回(うち、1回は環境イベントへの参加) 受講生:21人(うち、修了生は9人)	-	✓	-	-	・区内の庭園見学や身近な体験談など環境について学び、受講者で協力して、環境イベントへの準備、発表を経験することで、環境保全意識啓発活動等に取り組む知識となった。 ・過去の受講生の受講が多い。	環境政策課	地域環境係・内線3131
87	1-2-(3)	94	環02-02	文京ecoカレッジリサイクル推進サポーター養成講座	廃棄物を減量し資源循環型社会の構築を進めるためには、区民一人ひとりの日々の実践が重要である。「文京ecoカレッジ」は、地域でのリサイクル推進活動および区のリサイクル事業への区民への参画を進め、3Rの推進の実践につながる人材の育成及び活用を図るための「リサイクル推進サポーター」を養成する。隔年で既存のサポーターを対象にスキルアップ講座を実施。	【平成21年度~】30年5~6月計4回既存のサポーター29名を対象にスキルアップ講座を開講した。参加者は12名。	✓	✓	✓	-	・講座の受講生は、3Rの推進、ごみ減量に関心の高い方が集まった。今後も新規サポーターの養成と既存のサポーターのスキルアップを継続して実施して、一層3R推進活動に取組んでいく。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2192
88	1-2-(3)			PTA育成(PTA合同研修会・広報研修会、合同講演会)	PTAを育成するため、学習の場として、また、PTA相互の交流を図るため、広報研修会、合同研修会を開催する。	【広報研修会実施日(参加人数)】 4月24日(60名) 【PTA合同講演会実施日(参加人数)】 9月20日(39名)	-	✓	✓	✓	【PTA合同講演会】 ・講演会は会場の都合上定員を抑えたことが影響し、参加者数が減となった。講師や講演テーマをPTAのニーズにあったものにし、多くの保護者に参加してもらう必要がある。 【広報研修会】 ・PTA広報紙作成の実践講座であり、初めて役員になったPTAに好評である。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
89	1-2-(3)			PTA育成(PTA連合会主催事業の支援)	PTA連合会事業を共催または支援することにより、PTAを育成する。PTA相互の連携強化、家庭教育力の向上を図る。	①区立小学校PTA連合会岩井臨海学校施設見学会 ②区立中学校PTA連合会スポーツフェスティバル ③区立小学校PTA連合会バレーボール大会 ④区立小学校PTA連合会卓球大会 ⑤区立小学校PTA連合会バスケットボール大会	-	✓	✓	-	普段関わる事の少ないPTA会員同士が交流するよい機会となっている。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
90	1-2-(3)			生涯学習に関する教員研修の実施	生涯学習の基礎づくりの場としての学校教育を充実するため、教員に対する生涯学習の研修を実施する。	進路指導担当教員に対して研修会を実施	-	✓	-	-	進路指導を充実するため、教員に対する生涯学習の研修を今後も継続していく。	教育指導課	教育指導課内線3541
91	1-2-(3)			大学との連携による学校活動支援事業(大学等との連携により、学生等を活用した学校活動支援事業)	大学生等ボランティアを活用した学習指導補助員を派遣して、小・中学生の学力向上等を支援する。	小・中学校25校で実施、大学生述べ156人派遣	✓	✓	✓	-	大学生等ボランティアを活用した学習指導補助員を派遣し支援したことで、学力の向上に結び付いている。今後も継続した取り組みで、学力向上に努めていく。	教育指導課	教育指導課内線3541
92	1-2-(3)			バリアフリーパートナー(大学等との連携により、学生等を活用した学校活動支援事業)	バリアフリーパートナーとして、区内大学の学生・区民・ボランティア等と協働し、特別な支援が必要な幼児・児童・生徒をサポートする。	18小学校、3中学校、7幼稚園	✓	✓	✓	-	バリアフリーパートナーし、特別な支援が必要な幼児・児童・生徒をサポートすることで、安心・安全な学校生活を送ることができている。引き続き、支援を継続していく。	教育指導課	教育指導課内線3541
93	1-2-(3)			総合的な学習の時間(地域の人材の学校での活用)	生活科・総合的な学習の時間の充実を図るため、地域の人材を生かした区民講師を招聘する。	各小学校・中学校で実施	-	✓	-	✓	地域の人材を生かし、生活科・総合的な学習の時間の充実が図られている。今後も継続して、区民講師を招聘していく。	教育指導課	教育指導課内線3541
94	1-2-(3)			大学との連携による学習指導補助員配置事業	学生ボランティアを学習指導補助員として区立小・中学校へ派遣する。	47大学 東京大学、中央大学、お茶の水大学、日本女子大学、東洋大学、跡見学園女子大学など	✓	✓	✓	-	学生ボランティアを学習指導補助員として区立小・中学校へ派遣することで、個に応じた指導が充実した。次年度も継続して取り組んでいく。	教育指導課	教育指導課内線3541
95	1-2-(3)			学生による授業のインターンシップ	学生が区立幼稚園・中学校で指導の補助をする。	お茶の水女子大学	-	✓	✓	-	学生が区立幼稚園・中学校で指導の補助をすることで、個に応じた指導が充実した。継続して取り組んでいく。	教育指導課	教育指導課内線3541
96	1-2-(3)			特別支援教育相談委員会	就学就園にあたって、相談のあった幼児・児童・生徒の状況を審議するため、専門委員を委嘱している。	筑波大学	✓	✓	-	-	就学就園にあたって、専門委員を委嘱することで、相談のあった幼児・児童・生徒の状況を審議することができた。今後も継続した取り組みを行う。	教育指導課	教育指導課内線3541
97	1-2-(3)			往還型教育実習	教育学科の学生が区立小学校において通年(1年生秋から4年生まで)実習を行う。	東洋大学	-	✓	✓	-	教育学科の学生が区立小学校において通年(1年生秋から4年生まで)実習を行うことで、学習指導の充実が図られた。継続して取り組んでいく。	教育指導課	教育指導課内線3541

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
						目標1	目標2	目標3	目標4			
98	1-2-(3)		教02-02	大学連携協働ヘルプデスク(地域大学等連携事業)	平成29年度からは地域大学等連携事業として、区内大学等の高度な専門性や多様な人材を活用し、科学教育事業や教員研修・研究事業等の拡充を図るとともに、教員等を希望する学生のキャリアアップを支援します。	東京大学による個別学習相談に34件の申込みがあり、認知カウンセリングによる効果的な学習方法を学ぶことができた。	-	✓	✓	-	個別学習相談を実施することにより、生徒が効果的な学習方法を自発的に使うことができた。	教育センター 科学教育事業担当・内線3550
99	1-2-(3)		教10-01	教員研修	区内大学の教授等を講師として招き、教員の指導力向上を図るため、研修会を開催する。 参加対象:区内幼稚園、小・中学校教員	様々な教育課題に対応できる区立幼稚園・小学校・中学校の教員を育成するために、19の課題別専門研修を開催した。延べ66講座を実施し、延べ1631名の教員が参加した。大学や学識経験者等の専門家を講師として初級・教員の資質・能力の向上を図った。	-	✓	✓	-	大学等の専門知識を活用し充実した研修を実施できた。学校のニーズによりマッチした研修に改善することが課題である。	教育センター 学校支援係・内線3550
100	1-2-(3)			ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進する。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成する。	夏のボランティア体験教室 参加者115人 手話講習会 修了者170人 文京ささえ隊ボランティア養成講座 修了者4人	-	✓	✓	-	講習会等の受講を修了した者全員が、必ずしもボランティア活動につながるものではなく、実際の活動につなげる取り組みについて課題が残る。	福祉政策課 社会福祉協議会 文京ボランティア支援センター・内線4321
101	1-2-(3)			傾聴ボランティア講習会	傾聴の技術を学び、施設などで傾聴ボランティア活動を行うことを目的としたボランティア養成講座を開催	修了者24人	-	✓	✓	-	受講申し込み数が安定し、充実した講座となっている。	福祉政策課 社会福祉協議会 文京ボランティア支援センター・内線4321
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (1) 学びを通じた交流・仲間づくりの推進											1-3-(1)	
102	1-3-(1)			宿泊施設事業及び山村体験宿泊施設の運営	区民の健康増進と福祉の向上を図るため、区民が一般料金より低廉な宿泊料金で利用できる宿泊施設と各種サービス条件等について協定を締結している。 区民と魚沼市民との交流や体験の場として、やまびこ荘の運営を薬師スキー場組合に運営を委託し、山村体験宿泊施設として、区民に都会では得られない人や自然とのふれあいの機会を提供している。	協定宿泊施設については、魚沼市内の宿泊施設1施設が閉館となり、13施設から12施設となった。 やまびこ荘については、やまびこ荘管理者への貸付が令和元年度末で満了するため、やまびこ荘あり方検討会を開催し、令和2年度以降のやまびこ荘のあり方について検討を行った。 山村体験交流事業については、やまびこ荘主催事業12回、魚沼市観光協会主催事業8回の計20回開催となった。	-	✓	✓	✓	やまびこ荘は、平成30年度末で開設から36年が経過するが、平成6年度の温泉棟増築工事を除き、施設全体に係る改修は行っていない。 ボイラーやポンプといった設備については、20年以上稼働しており、今後やまびこ荘の運営を継続していくためには、機器の更新も視野に入れながら、引き続き検討を行っていく。	区民課 庶務係・内線2402
103	1-3-(1) 1-3-(2)			交流館における交流事業の充実	世代間を越えて、広く区民同士が交流を図れるよう、交流館において、様々な交流事業を実施する。	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、ママとベビーのふれあい教室、ぐるぐるパザール等	-	✓	✓	✓	指定管理者により区民同士の交流、多世代交流となる交流事業を多く実施している。	区民課 地域振興係・内線2404
104	1-3-(1) 1-3-(2) 3-3-(1)			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域広報紙発行補助27団体	-	✓	✓	✓	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課 地域振興係・内線2404
105	1-3-(1)			各種サークル等の育成	区民の自主的な学習活動を促進するため、各種サークルの支援を行う。	消費者グループ活動助成 10名以上の消費者グループ活動の講師への助成	✓	✓	✓	✓	消費者団体の自主的な活動を支援できた。	経済課(消費生活センター) 消費生活センター内2460
106	1-3-(1)		高福03-05	文京区家族介護支援事業	区内に住所を有する、認知症の高齢者その他在宅の介護が必要な高齢者を現に介護する方等を対象に、認知症家族交流会、介護教室等を社会福祉法人等に委託して実施する。主な事業内容は介護技術・方法に関する指導、介護保険及び保健福祉に係るサービスの情報提供、介護者同士の交流等である。また、認知症の方やその家族だけではなく、地域の方、介護保険の事業者や専門職の方など、誰もが集い、話せる場として認知症カフェを社会福祉法人等に委託して実施する。	各高齢者あんしん相談センターにおいて事業実施 家族交流会(年8回) 介護者教室(年8回) 認知症カフェふんにこ(年4回)	-	-	✓	-	・認知症家族交流会、介護者教室…講演会等の事業に連続させて開催するなど、集客や参加のしやすさ、情報の得やすさに留意しながら事業を実施した。引き続き、参加者に必要とされる情報が届くよう周知に努めていく。 ・認知症カフェ…圏域毎に工夫を凝らし開催している。住民主体のカフェの後方支援も継続しており、今後とも地域に根付いた認知症カフェが増えいくことが望ましい。	高齢福祉課 高齢福祉課 認知症・地域包括ケア係 (2707~2709)
107	1-3-(1)			障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供する。	平成30年12月8日(土)~10日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,989人。	-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供することが、障害者の励みとなっている。	障害福祉課 障害者在宅サービス係・内線2754
108	1-3-(1)		青02-01	文京区青少年の社会参加推進事業補助金	区内で非営利活動を行う団体(NPO等)が実施する、青少年の社会参加を推進する事業に対して、経費の一部を補助する。これにより、当該事業の充実を図り、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供し、青少年の社会参加を推進し、青少年の自立を促進することを目的とする。	【平成14年度~】 5事業に対し経費の一部を補助	-	-	✓	-	NPO等の特性を活かした、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供する各種事業が実施された。 様々な事業が展開できるよう、申請実績のないNPO等にも情報が行き届くよう、補助事業に関する周知の充実を図ることが課題である。	児童青少年課 青少年係・内線7033



整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
109	1-3-(1)			さまざまな交流の機 会の提供	男女平等参画のための相互交流の機会を提供する。	・男女平等センターまつり(10月27～28日 来場者数延1,736人) ・利用者懇談会 2回(①6月14日 参加者30人 ②11月20日 参加者33人) ・登録団体活動報告会1回(2月23日 参加者27人)	✓	✓	✓	✓	・日頃センターで活動している団体の活動発表や、講演会を行うことでセンター利用者間の交流ができた。 ・昨年に引き続き、子育て中の方向けのイベントも多く、年代の若い参加者が増えた。 ・日頃センターを利用している団体等を対象とした利用者懇談会で様々な意見や課題を聴き、改善・向上に活かすとともに認識の共有が図れた。また、活動報告会や講演会、センターまつりの活動発表などでは、利用者間の交流や情報交換ができた。 ・今後も継続して、多くの方のセンター利用を促し、情報の共有・交換を活発にすることでセンターの質の向上を目指していく。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
110	1-3-(1)			湯遊入浴デー	毎月第2日曜日及び第4日曜日を「湯遊入浴デー」として、区内在住者を対象に、区内実施浴場を100円(小学生以下は無料)で利用できる入浴デーを実施し、異世代交流の場を提供する。また、特別湯として、敬老の湯(9月の第4日曜日)・初春の湯(1月の第2日曜日)を実施している。	年間入浴者実績数:38300人	-	✓	✓	-	・100円での入浴が可能なことにより、通常の営業日より入浴者が多い。 ・通常の営業日より入浴者が多いために、脱衣所が混雑し、入浴客の回転率が悪くなるという課題が浮き彫りとなった。	生活衛生課	管理計画係・内線2812
111	1-3-(1)			出合いの湯	公衆浴場が自ら計画、イベント等を企画し、特別湯等を実施する。 地域住民に積極的に参加してもらうことにより、高齢者、若者、親、子の交流の場としての公衆浴場の有効活用と活性化が図られる。	区内6浴場(文京浴場組合加盟店)で年12回実施	-	✓	✓	-	・三月の毎週土曜と第3木曜日に「文京の湯 三月のタオル祭」を実施し、文京浴場組合の加盟している6浴場で行った。先着300名に各浴場のイラストが描かれたタオルを配付した。 「文京の湯 三月のタオル祭」は好評であったが、入浴者数が増加したため、入浴客の回転率が悪くなり、経営者自身の負担が増えてしまうことが課題。	生活衛生課	管理計画係・内線2812
112	1-3-(1)			健康づくり自主グループ等の育成	健康づくり自主グループの活動に対し助言を行い、活動を支援する。	栄養関係健康づくり自主グループへの支援・助言	✓	✓	✓	✓	食事や栄養等の情報提供により、区民の健康づくりや保健衛生事業のサポートを行うことができた。会員確保が課題。	保健サービスセンター	健康相談係・内線2844
113	1-3-(1)	97	環02-04	ステージ・エコ イン 区民ひろば	リサイクル事業のひとつとして、年6～7回区民ひろばでフリーマーケットを開催し、ゲスト団体のブースを併せて展開している。	【平成20年度～】5、6、8、12、2月に区民ひろばでフリーマーケットを行った。来場者数は区民ひろばが各約500～千名。(10月の教育の森公園でのフリーマーケットは雨天中止)	-	✓	✓	-	今年度も新規の方を優先で出店して頂き、2R推進の啓発を多くの方に行うことができた。安定した運営をめざし、屋内実施を検討。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2192
114	1-3-(1)			ボランティアの交流・ 協働への支援	ボランティア・市民活動団体の交流を図り、活動しやすい環境をつくる。また、多様な協働を支援し、区内のボランティア活動がより活発化するよう働きかける。	来場者750人	-	-	✓	-	平成30年度より、文京ボランティアまつりの実施内容を見直し、地域活動団体同士のつながりを創出できるよう、従来のブース形式からプレゼン形式に変更して実施し、ボランティア活動内容をPRした。	福祉政策課	社会福祉協議会 文京ボランティア 支援センター・内 線4321
115	1-2-(2) 1-3-(1) No.102再掲			いきいきシニアの集 い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通して、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図る。	いきいきシニアの集い 平成30年11月23日～24日実施 参加人数(二日間総合計):5,325人	✓	-	✓	-	2日間の開催で延べ来場者数は6千人を超え、活況を呈した。作品展示や手芸等の実演コーナーを通して高齢者やその子世代、学生ボランティア等との世代間交流が促進され、高齢者の生きがい向上を図ることができた。	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
116	1-2-(2) 1-3-(1) No.103再掲			「敬老の日施設開 放」	高齢者の生活が健康で明るいものとなることを願って、福祉センター利用者と職員が一緒に「敬老の日」を祝う。 内容は、敬老の日に高齢者自身が演芸大会で歌・踊り・手品等の特技を披露し合う。また、お茶会を催す。	「敬老会」参加 延べ人数120人[出演者26名(関係者含)、シニア70人、リァン15人、一般7名、子ども2名]	✓	-	-	-	シニアの方が70名参加した。多世代間で祝福(交流)ができるよう、出演団体に小学校の父親の会を招き、そのご家族の参加も図るようになった結果、子どもや一般の方の参加もあった。今後も多世代間交流が図れるよう検討していく。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
117	1-2-(2) 1-3-(1) No.104再掲			福祉センター祭り	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を通じて、地域社会との交流を図る。また福祉センターを利用する自主的サークルの活動発表の場を提供する。	平成30年11月11日(土)～12日(日) 活動発表団体:30団体。(うち地域福祉関係:14団体) 協力一般団体:8団体 参加ボランティア:成人44人、大学生60人、高校生1人、手話通訳30人 イベント等参加人数(二日間総合計):3,946人	✓	-	✓	-	4千人近くの来場があり盛況であった。多種に渡ったワークショップやイベントを用意することで、多世代間(地域)交流が促進された。また、所属する町会からのボランティアだったり、消防や警察、地域の大学やお店の(ワークショップ)協力もあり、共生社会の街づくりの一助となった。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
118	1-2-(2) 1-3-(1) No.105再掲			世代や立場の違い を超えた、さまざま な交流の機会の提 供	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場をつくる。	平成30年12月8日(土)～10日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,989人。	-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供することが、障害者の励みとなっている。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754



整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
							1	2	3				4
119	1-2-(2) 1-3-(1) No.106再掲			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図る。	福祉作業所一歩いっほ祭り 小石川福祉作業所 平成30年10月27日(土)開催 大塚福祉作業所は改修工事のため、休止	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係・内線3339
120	1-2-(2) 1-3-(1) No.107再掲			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図る。	本郷福祉センターほんわか祭り H30年11月24日(土)開催	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係・内線3339
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (2)地域で支える学習環境の充実											1-3-(2)		
121	1-3-(2) 4-3-(1)			文京博覧会(ぶんぱく)2018	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介	H30.11.16~17開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリースピック、アートサロン、スピックホール小ホール 8大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、東京医科歯科大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、日本女子大学 来場者数:13,555人	✓	-	✓	-	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行った。 区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要がある。	経済課	産業振興係・内線:2453
122	1-3-(2)			登録消費者団体との連携	必要とされる消費生活の情報提供を行い、消費者団体の活動促進を図る。	消費者団体登録数/7団体 文京区消費者団体連絡会6回 消費生活見学会2回 消費生活展1回	✓	-	✓	✓	消費者団体と定期的に会合を行い、消費者被害防止等に関する情報共有ができ、活動の促進が図られた。	経済課(消費生活センター)	消費生活センター内2460
123	1-3-(2)			障害者施設の学園祭への参加	大学連携会議で提案したものが具体化し、障害者施設自主製品の委託販売を実施。今年度は5施設が出店(障害当事者も参加)。	貞静学園短期大学 12月15日(土)・16日(日)学園祭にハートフル工房外部出店	-	-	✓	-	障害者施設自主製品の委託販売を実施することができた。	障害福祉課	障害福祉係・内線2752
124	1-3-(2)			文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)における区内大学との地域連携	毎月1回開催されている文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)で、区内大学学生との協働として販売会内でのイベント企画等を行っている。学生は障害者と接する学びの機会となっている。	文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)において、ランチタイムイベントとして貞静学園短期大学「爽蘭会」による、よさこいダンスの披露。 2/26(火)開催	-	-	✓	-	区内大学生との協働として、販売会内でのイベント企画等を行うことができた。学生にとっては、障害者と接する学びの機会となっている。	障害福祉課	障害福祉係・内線2752
125	1-3-(2)		青01-01	文京区「家庭の日」啓発	毎月第2日曜日を文京区「家庭の日」と定め、家庭の意義を見直し、家族のふれあいや結びつきを深めるため、各種啓発事業を展開している。	・広報啓発用植物の種9,200個を複製し、区立小学校全児童へ配付 ・文京区青少年健全育成会が実施する家族のふれあい促進事業に対し、補助金を交付 ・文京区「家庭の日」に合わせ、11月11日(日)に文京区青少年健全育成会九地区合同行事「文の京こどもまつり」を実施	-	-	✓	-	広報啓発用植物の種の配付及び「文の京こどもまつり」等の事業を通して、家庭の意義を見直す機会を創出するとともに、家族のふれあいの場を提供し、啓発の充実を図った。 事業等の継続実施による意識啓発が重要であり、事業の性質として、短期的な効果が測れない点が課題である。	児童青少年課	青少年係・内線7033
126	1-3-(2)		青01-01	文京区青少年健全育成会活動支援(平成27年4月より、文京区青少年健全育成会へ変更)	青少年の健全育成のため活動している文京区青少年健全育成会(9地区)を支援する。	・事業補助 ・会長会 年3回 ・地区連絡会 年2回 ・委員研修会 年1回	-	-	✓	-	地域の特性を活かして実施する事業に対して補助を行うとともに、地区連絡会等の開催を通して情報交換を行い、活動の充実を図った。 地域団体、PTAなど幅広い年代が連携して事業を実施することにより、多様なつながりが生まれ、地域の交流が促進された。	児童青少年課	青少年係・内線7033
127	1-3-(2)			PTA育成(親子ふれあい教室)	PTAが実施する親子のふれあいを深めるための事業を支援し、経費の一部を負担する。	対象:区立幼稚園、小学校、中学校 全40校(園) 【30年度実績:36校園】	-	-	✓	-	PTA、児童生徒及び地域住民が交流するよい機会となっている。	教育総務課	教育総務課地域教育支援担当・内線3607
128	1-3-(2)			学校支援地域本部事業	地域の教育力の活性化を図り、子どもたちの「生きる力」「確かな学力」を育むため、地域全体が学校教育を支援する体制を整備し、推進する。また、本事業は、地域住民等の学習成果を活用する機会にもなっている。	平成20年度より開始。現在区立小学校16校、中学校6校に設置。 各本部に置かれた地域コーディネーターのコーディネートにより、地域の方々が、校外学習の支援、図書ボランティア、職場体験受け入れ先調整などを行っている。 平成28年度から開始した学習支援ボランティア事業は10校で実施している。	✓	-	✓	-	・学習支援ボランティア事業は、少人数での学習支援により子どもたちの学力向上、学習の習慣づけになっている。 ・地域コーディネーター及び学習支援ボランティアが不足している学校もあるため、より幅広い人材確保が必要である。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績	目標1	目標2	目標3	目標4	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
129	1-3-(2)			青少年委員による 学校支援活動等	青少年委員会に、学校支援に深く関わりのある事業を委託することにより、地域とのつながりを深め、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するとともに、青少年の健全育成を推進する。	6事業を青少年委員会へ委託した。 ・五者合同研修会(6月実施。講師:b-lab館長白田好彦) ・中学生サミット(6月・12月実施。各区立中学校生徒会役員が参加、) ・クリーンウォーク(11月実施。会場校:汐見小学校、延参加者49名) ・小学生向け事業(7月実施。会場校:大塚小、参加者121名) ・青少年委員会HPの更新 ・はたちのつどい「文の恩返し」(1月実施。参加者172名)	✓	✓	✓	-	他校の児童や生徒の交流の場を提供しており、多くの事業において定員を超える参加の応募がある。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
130	1-1-(1) 1-3-(2) No.30再掲			地域行事への学校の参加の促進	地域の様々な催しに学校が積極的に参加し、地域と学校の連携を図る。	各幼稚園・小学校・中学校において、地域のイベント等に幼児・児童・生徒が参加	-	✓	✓	-	地域の様々な催しに学校が積極的に参加することで、地域と学校の連携を図られている。	教育指導課	教育指導課 内線3541
131	1-1-(2) 1-3-(2) No.42再掲			産学官が連携するための拠点づくり	産学官が連携して創業及び中小企業支援を進めていくために、連携の核となる新たな拠点づくりを検討する。	創業に係る現在の経済情勢を踏まえ、区の方針について検討を実施した。	-	-	✓	-	連携のあり方、手法についてもあわせて検討する必要がある。	経済課	産業振興係・内線2452
132	1-1-(4) 1-3-(2) No.85再掲			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域資料の収集・提供。 特集展示「江戸幕末戊辰戦争「明治150年 江戸から東京へ」「明治150年 明治の東京」「あやしい東京」大河ドラマ『いだてん』」	✓	✓	✓	-	地域への関心の高まりによって、レファレンスや展示資料の利用が増加している。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
133	1-1-(4) 1-3-(2) No.86再掲			図書館ホームページの充実	子どもの読書活動の重要性や意識について広く理解を得るために、子ども・中高生向けのページを設置し、情報を発信する。	図書館ホームページに「子ども読書の部屋」「YA10代のためのページ」等を開設し、情報発信。	✓	-	-	-	・「子ども読書の部屋」は、図書館からの情報発信だけでなく、子どもと読書に係わる取組をする人々の交流にも活用できるよう開設したが、十分には活用されていない。 ・「YA10代のためのページ」は、中高生向けの内容の充実と情報の更新が必要である。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
134	1-3-(1) 1-3-(2) No.142再掲			交流館における交流事業の充実	世代間を越えて、広く区民同士が交流を図れるよう、交流館において、様々な交流事業を実施する。	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、ママとベビーのふれあい教室、ぐるぐるパザール等	-	✓	✓	✓	指定管理者により区民同士の交流、多世代交流となる交流事業を多く実施している。	区民課	地域振興係・内線2404
135	1-3-(1) 1-3-(2) 3-3-(1) No.143再掲			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域広報紙発行補助27団体	-	✓	✓	✓	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課	地域振興係・内線2404
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (3)学び合いとまちづくりにつながる学習の促進												1-3-(3)	
136	1-3-(3)			災害時における相互協力に関する協定書	発災時における避難場所の提供等	6大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、筑波大学、東洋大学、三室戸学園、文京学院大学 ※お茶の水女子大学とは、幼児及びその保護者のための避難所に変更するため、新たな協定を締結した。また、他の大学とは災害時の連絡先をお互いに確認した。	-	-	✓	-	避難所以外の区有施設を二次的な避難所として開設した後に、避難所に収容しきれない避難者を受け入れてもらう施設としての役割などを協定で締結している。 避難所開設委員の確保や避難物資の輸送が課題と認識している。	防災課	計画担当 内線2543・2544
137	1-3-(3)			防災訓練	協定締結に基づき、東洋大学・地元町会・区とで防災訓練を実施。	東洋大学の学生に対して、防災教室として起震車を活用した地震体験を実施し、74名が参加した。 また同じく協定締結先である拓殖大学の学生に対しても防災教室として起震車を活用した地震体験、煙体験ハウスを実施し、145名が参加した。	✓	✓	✓	-	・防災教室を実施し、昨年度に引き続き協定締結先との連携の強化を図った。 ・今後も協定締結先と平常時からの協力関係をさらに構築することが必要であり、地元町会との連携を図ることが課題である。	防災課	訓練担当 内線:2548・2554
138	1-3-(3)			災害時における母子救護所の提供に関する協定書	発災時において、妊産婦・乳児救護所としての施設提供等	5大学(跡見学園女子大学、順天堂大学、貞静学園短期大学、東洋学園大学、日本女子大学) ※跡見学園女子大学では、区と協力し、妊産婦・乳児救護所開設訓練を行った。 ※各大学の関係者等と協議を行い、平成31年3月に「妊産婦・乳児救護所ガイドライン」を作成した。	✓	✓	✓	-	災害弱者といわれる妊婦や乳児を抱える母親が安心して避難できる避難所として1次避難所として開設する。	防災課	計画担当 内線2543・2544
139	1-3-(3)			新成人を祝い、成人としての自覚を促す式典の開催	区内の新成人を含めた「はたちのつどいを考える会」によりアトラクション等を選定し、新成人のための式典を開催する。	H31.1.14実施 新成人対象者1,978人 参加者1,190人	-	-	-	✓	「はたちのつどいを考える会」を5回実施し、新成人が中心となり式典の内容検討を進めた。	区民課	地域振興係・内線2404
140	1-3-(3) 4-2-(4)			商店会との連携	商店会イベントの運営にインターンシップの一環で学生が参加	H30.11.18 第21回追分通り商業まつり 文京学院大学 400人	-	✓	✓	✓	商店街街区の来場者が多かったため、日常の会話や顔なじみへの進展・活性化が図れた。	経済課	産業振興係・内線:2452

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	30年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
141	1-3-(3)		産05-02	とびだせ！消費者きょういく	区内各施設へ消費生活センターが出向き、若者や高齢者の消費者被害防止のための講義や相談を受け付ける。	クールアースフェア1回 産業とくらしプラザ1回 区民ひろば2回 ギャラリーシビック2回 計6回	✓	✓	-	✓	高齢者や若年者の消費者被害防止を呼びかけることができた。	経済課(消費生活センター)	消費生活センター内2460
142	1-3-(3)			団体への講師派遣制度の実施	団体の自主的な学習を促進するため、学習団体等が合同で講習会等を行う場合に講師を派遣する。	○子育てひろば西片「トイレトレーニング」(6月、36組) ○フルード工業「社員の健康管理」(8月、18名) ○子育てひろば汐見「トイレトレーニング」(6月、40組) ○こまびよのおうち「生活リズム」(6月、7組)	✓	-	✓	-	子育てに関する知識の提供や、地域資源の周知等について共有を行った。	保健サービスセンター	保健指導係・内線2855 本郷支所・内線2850
143	1-3-(3)	99		文京エコ・リサイクルフェア	地球環境に配慮した資源循環型社会の構築を目指すため3R推進月間に合わせて、リサイクル・環境団体の活動の成果を紹介し地域住民との交流を図る。	平成30年10月27日に教育の森公園にて開催した。22団体が出展し、延べ5,381名が来場した。雨天のため、フリーマーケットは中止した。	-	✓	✓	✓	事業実施が天候に左右されること、(車両誘導・駐輪所警備など)周辺業務に人手が割かれ、従事者の役割分担に支障が出ることから、令和元年度より屋内実施に変更する。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2191
144	1-3-(3)			ふれあい給食・ふれあい会(学校行事への住民参加)	地域の人やお年寄りを給食に招待しコミュニケーションを図る(小・中学校でのふれあい給食) 地域の人やお年寄りとの交流会を開く(幼稚園でのふれあい会)	各幼稚園・小学校・中学校で実施	-	-	✓	-	小・中学校でのふれあい給食では、地域の人やお年寄りを給食に招待しコミュニケーションを図ることにつながっている。 幼稚園のふれあい会では、地域の人やお年寄りとの交流につながった。	教育指導課	教育指導課内線3541
145	1-3-(3) 3-3-(1) 4-3-(3)			社会科副読本の作成及び購入(地域についての学習の推進)	地域の歴史や伝統・文化を理解するため社会科副読本(小学校「わたしたちの文京区」「わたしたちの東京」、中学校「わがまち文京」)を作成・購入する。	ふるさと学習副読本の作成「わがまち文京」「わたしたちの文京区」の作成 「わたしたちの東京都」購入	✓	✓	-	-	地域の歴史や伝統・文化を理解するためのふるさと学習副読本を作成することができた、	教育指導課	教育指導課内線3541